

食品の異物混入に係る昆虫の分析手法

－DNA分析によるクサビノミバエの検出－

成果の特徴

- 食品製造施設等において、防除が困難な飛翔性昆虫について、DNA分析による種判別の適用可能性を調べました。
- 本法は、ライトトラップ等に捕らえられた大量の昆虫や、食品に混入した昆虫を迅速かつ正確に検査できます。



ライトトラップ
朝日産業株式会社より

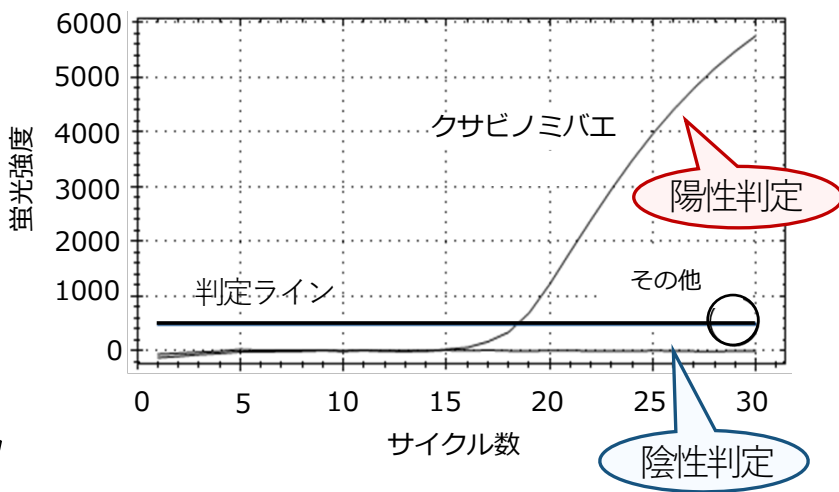


従来の方法



幼虫や成虫の一部分
(翅脈、触角等)では
判別が困難

本研究成果の分析法



リアルタイムPCRによる検査結果の例

“その他”はクサビノミバエ以外の主要な穀物害虫

迅速かつ正確に検査できる！！

幼虫や成虫の一部でも判別が可能！！

成果の活用

本研究成果は、害虫駆除業者、検査機関、試薬メーカー等での実用化が期待されます。